



# 夕木木だより

2012  
秋号  
vol.2

友の会会員の皆さまと記念館を結ぶ会報誌

## 酔芙蓉

妻と盃をかたむけ

酔芙蓉を見る

二人とも残り少ない人生

この花のように

おのれを染めて

美しく終わろう

館長エッセイ

### 坂村真民の思い出

「一人で生きる」「孤独の世界に戻る」  
ことを目指した晩年

真民詩とわたし

### ずっと、先生に守られてきました

松田薫さん

### 真民詩を読み解く ①

真民詩の特色と誕生の背景

### 記念館からのお知らせ

土曜講座・日曜講座を開講

ボランティアガイド養成講座受講生募集

### 次回の展示予定

ミュージアムショップ拜見



酔芙蓉(すいふよう)…朝、咲き始めた時は白い花を咲かせ、午後になるとピンク色、夕方には濃いピンクなり、お酒に酔ったように花弁が赤みを帯びてくる。

平成14年4月、田中一村記念美術館にて  
西村学芸員とともに



【第二回】坂村真民の想い出

「二人で生きる」「孤独の世界に戻る」  
ことを目指した晩年

家族の一員として真民と接するようになつて、一番最初に感じたのは、「六魚庵箴言」に詠われている、「貧しくとも心はつねに高貴であれ」という詩句です。90歳近くになつてもこの気持ちをもち続けていることに大変驚きました。

苦勞を共にした妻への恩返しというところで、老朽化した古い家を新築したり、家族には経済的に不自由な生活をさせまいと考えてはいましたが、自分の事は、貧しかった時代の生活とほとんど変わらない質素な生活を守り、自分の生き方を頑として貫くという生活を続けていました。家族の者も、自然とそれに合わせた生活になつており、私自身の生活のスタイルも大きく影響を受けました。

特に90歳を超えてからの生き方を今振り返って見ると、人生の終着点に向かつてまず不要なものを切り捨ててゆく、そして周りの人々と付き合ひも出来る限り減らしてゆく、そして最終的には、一人で生きてゆく、孤独な世界へ戻ることを目指して生きてゆくことに専念していたように思います。

例えば、「詩国」を500号で

止めたのもその考え方から出てきたものです。真民は、「詩国」を発行する過程で、様々な人の力を借りていくことに、ずっと負い目（もしくは自分から遠く離れていく感じ）を感じていました。「詩国」の発行は真民にとつて、自分自身に課した行ななのです。

詩を作り、編集・校正・印刷し、1200人に自分の手で宛名を書いて、封筒に切手を貼り、詩国を入れて封をするという、この二連の作業がすべて行々として行われているのですが、90歳を超えたこの頃には、多くの人の力を借りて約6000人に「詩国」は発送されてきました。これを一度原点に戻し再出発するために、「詩国」を止め、「鳩寿」に替えたのです。

「朴庵例会」を止めたのも、「朴の会」を解散したのも同じ考えからです。最初は10〜20人の人たちで始まった例会が、この頃には150人くらい

の人が毎回全国から集まってくる会になつていました。また朴の木を植えることを趣旨とした会が、真民を囲む会になつていました。真民は自分の手の届く範囲内での、最小限度のお付き合い以外は断ち切る覚悟でこの二つの会も止める決心をしたのです。

確かにたくさんの方に真民を知ってもらい、詩国を読んでもらい、詩集を買って読んでもらうことも大切なのですが、真民にとつては、心と心の触れ合いが出来る関係を持つには、あまりにも人数が多くなりすぎたのです。

真民は、詩墨展をするたびに、「詩記（思索ノート）」の中で、「もう絶対にこんなことはしてはならない。人の力を借りてやることは、もう決してしてはならぬ。」と書いています。

真民の行動基準では、何かをするときは、自分の力で出来る範囲内でする、他人の力を借りてまでではない、というのが原則でした。

すべて、自分の原点に帰るといふことを実行してゆくの、最後に自身に課した行だったのです。

# ずっと、先生に守られてきました

松田 薫さん(77歳)



短歌に別れを告げて詩の世界に向かった昭和25年、真民さんは県立吉田高校に着任した。そこで出会ったのが松田(旧姓・平山)薫さんだ。純粋でひたむきな情熱を秘めた女生徒は、のちに障害児教育の道を歩む。「私の思いを引き継ぐのは彼女」と真民さんが最も信を寄せた教え子である。

## ◆十五歳の出会い

坂村先生にお会いしたのは中学三年生の時です。私が在籍した私立山下高等学校中学部が吉田工業高校と合併して県立吉田高校(中学部併設)となった春、三瓶から先生が来られました。

第一印象は「若くてすてきな先生」。本好きの私は、授業で沢山の本を紹介してくださる先生のファンになり、高校の空き時間には、先生の授業にしのびこんだものです(笑)。

先生が顧問の文学部にも入りましたが、「詩は頭で書くものではない」という先生の二言で、詩作は諦めました。夏休みに二家が熊本に帰省する際には、友人と留守役を買ってました。



大乗寺の山下照山さんを囲んで(後列左端が松田さん)

「留守中、これでも読むかね」と先生から手渡されたのは、何冊もの日記でした。貴重な思い出のひとつです。

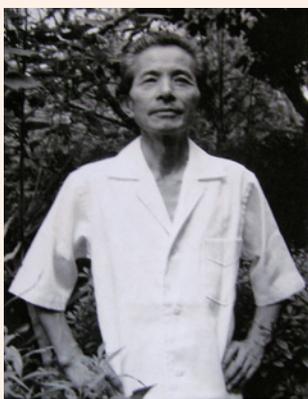
## ◆障害児教育への導き

先生の朝鮮時代の教え子が横浜の訓盲院で教えているのを知り、私も視覚障害者教育の道を志しました。ところが、県内には学ぶ場がなく、愛媛

大学の聾教育学科に進むことにしました。先生は大変喜んで下さいました。先生には進学させる余裕はありません。先生のご尽力で、伯父が学費を出してくださるようになりましたが、もし、工面できなければ、先生が援助するつもりでいたと、後でうかがいました。

## ◆春苔さんに学んだ人生

杉村春苔さんの思い出も尽きません。高校時代、坂村先生を慕う生徒十人ほどが、先生が毎朝参禅していた大乗寺に日曜日ごとに行き、座禅の真似ごとをしていたのです。そこで、かつて



松田さんが真民さんのために縫製したシャツ。型紙は春苔さんが作った

大乗寺に身を寄せた女性が尼僧となり、大分で戦争未亡人に洋裁を教えていると、雲水の山下照山さんが話してくれました。感動した私は春苔さんを大分に訪ね、聾学校の教師時代もよく通いました。実に立派な方でした。

## ◆大きな存在に守られて

毎月送られる「詩国」を読むたびに、先生と対話しているように感じています。先生は先生が、不幸な境遇に苦しむ人々の支えになっていることは、私にとっても大変嬉しいことでした。

十五歳でお会いしてからずっと、私は先生に守られてきました。私の中で先生がとても大きな存在であることは昔も今も変わりません。

夫の忠昭さんは盲学校の元音楽教師。「念ずれば花ひらく」など、真民詩13編に曲をつけた



# 真民詩の特色と誕生の背景

真民詩を読み解くうえで、まず概略として、坂村真民の詩はどのような特色があり、その詩がどのようなように生まれたのかということを整理しておく必要があると思います。

## その1 家族への限りない愛情と信頼

坂村真民の詩は、一貫して家族を題材とした詩が中心です。家族への限りない愛情と信頼を土台として生まれてきたものです。

真民にとって、教師を続けながら詩を書くということは苦勞が多く、学校ではいつも孤立していました。そういう中で、妻と3人の子供が待つ家庭だけが、家族の温かさで包んでくれる安らぎと心落ち着く場所でした。どんなにつらい事やいやな事があっても、家族の笑顔と愛情がそれを救ってくれ、真民もそれに応えて、妻と3人の子供に最大限の愛情を注ぎ、家族を守るためにまた働きに出る。そういう生活の中から、たくさんの素晴らしい

詩が生まれています。

## その2 身近なものへのやさしいまなざし

真民詩の中には、生きとし生ける者へのやさしいまなざしで書かれた詩がたくさんあります。身の回りの草や木、花、虫、小鳥など、二生懸命に毎日を生きている者たちに愛情を込めて語りかける詩、さらには何も言わない石の声を聴き、石と会話している詩もあります。

そういう身近な日常の何気ない世を題材として、透きとおったみずみずしい感性の中から生まれてくる詩がたくさんあります。

## その3 いかに生きるか問い続けた修業の人生

真民は人生の修業として、人間として如何に生きるかを問い続け、その過程において生まれてくる人生の苦しみや悲しみ、喜びをわかりやすい言葉で詩として表現しています。

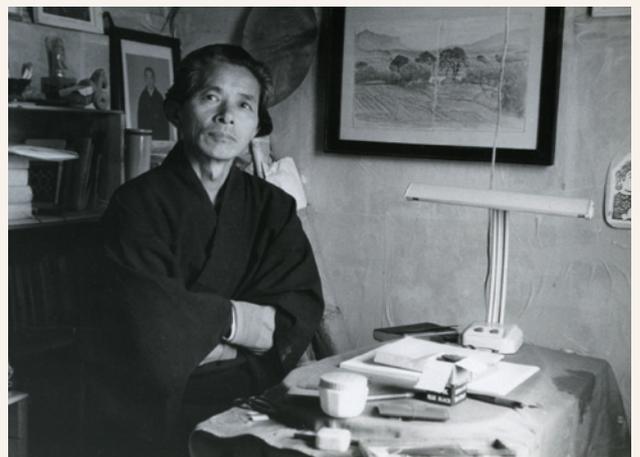
これは、自身の生活体験(貧しい家庭で育ち、苦しい事や悲しいことを誰よりも体験したが、必ずそれを乗り越えてきた)から生れてきた、真民流の生き方を表したものです。

それはまた、40代から50代にかけて、仏教の精神に基づく深い思想を学び、厳しい修業を自分自身に課して身に着け実践した生活の中から生れてきたものであり、その体得した思想を表現しているものと言えます。

## その4 生きる意味、生きる喜びを体得して

真民詩が多くの人々に生きる勇気と希望を与えているのは、真民自身が生きることを強く求め続けた人間であるからではないでしょうか。それもただ生きるのではなく、「真の人間として生きる」ことを求め続けた言葉ゆえに、強いメッセージが込められています。

子供の時は体の弱い、学校でも一番小さい少年で、徴兵検査も「筋骨薄弱第二乙」だった人間が、さらに40代には生死を彷徨うほどの大病もしている、そういう人間だからこそ、誰よりも、生きる意味、生きる喜びを実感し



ていたのであり、最後まで生きること執着していたのだと思います。

生きることの喜びと大切さを実感として体得した人間だからこそ、そういう詩をたくさん作り、人々に訴えているのです。

次回からは、毎回二つ二つの真民詩を取り上げ、詩の魅力とその背景について、私なりの解釈と解説をしていきます。と思っています。

※真民の中では、朝鮮時代に生まれてすぐ亡くなった茜さんを入れると4人の子供



より深く真民詩を理解していただくため

受講無料

# 月1回 土曜講座・日曜講座を開講中

定員 各30名 場所 坂村真民記念館

より深く真民詩を理解していただくために、月に一度、1回完結で、次のような講座を開講します。気軽に参加してみませんか。

## 【日曜講座】(友の会会員・一般成人向け)

### ①第1日曜日 タンポポの会(友の会会員向け)

10時30分～12時 館長及びゲストの話を聞きながら、真民詩をより深く理解するための学びの場とする。  
12時～13時 昼食・懇談を通して会員相互の親睦を図る。

### ②第3日曜日 日曜講座(一般向け)

10時30分～12時 毎回、真民詩を2～3篇採り上げ、その詩の意味と背景について解説し、参加者相互の意見交換も行う。

## 【土曜講座】(小学生・中高生向け) 10時30分～12時

### ①第2土曜日 小学生対象ワークショップ「生きることの大切さを学ぶ」

### ②第4土曜日 中高生対象ワークショップ「人間としてどう生きるか」

### 募集及び申し込み方法

講座は、毎月1回で完結しますので、毎月募集します。希望者は、次の必要事項を記載した「往復はがき」で、開講日の2週間前までに申し込んでください。

※申し込み多数の場合は、抽選により決定し、結果は全員にお知らせします。

〈必要事項〉①氏名 ②住所 ③年齢(学生の場合は学年も) ④性別 ⑤電話番号 ⑥希望する月と講座の種別  
〈送付先〉〒791-2132 伊予郡砥部町大南705 坂村真民記念館「講座申し込み」係

## 記念館で

# ボランティアガイドをしませんか

## 平成24年度坂村真民記念館 ボランティアガイド養成講座受講生募集

受講無料

受講期間 Aコース 平成24年10月5日(金)～12月21日(金) [全10回]  
Bコース 平成24年10月6日(土)～12月22日(土) [全10回]

定員 30名程度(A、Bコースとも)  
応募者が多数の場合は抽選により決定し、9月末に全員に連絡します。

場所 坂村真民記念館  
(A、Bコースとも)

募集期間 平成24年8月10日～9月7日  
(A、Bコースとも)

募集受付 希望者は、氏名、住所、年齢、性別、電話番号、メールアドレスがある方はメールアドレスを記載した往復はがきを下記までお送りください。(9月7日消印有効)

〈送付先〉〒791-2132 伊予郡砥部町大南705  
坂村真民記念館「ボランティアガイド養成講座係」  
問い合わせ先 TEL089-969-3643(坂村真民記念館)

※AコースとBコースは同じ内容の講座です。受講者の便宜を図るため、AコースとBコースを相互に受講することも認めます。  
※修了者には修了証書を授与し、25年1月からガイドとして活動していただけます。



回数	Aコース 10:00～12:00	Bコース 13:30～15:30	講座内容	講師
1	10月 5日(金)	10月 6日(土)	開講式 坂村真民の生涯(1) 58歳まで	館長 西澤孝一
2	10月12日(金)	10月13日(土)	坂村真民の生涯(2) 58歳から晩年	館長 西澤孝一
3	10月19日(金)	10月20日(土)	ビデオ鑑賞(坂村真民の人生と詩について)	館長 西澤孝一
4	11月 2日(金)	10月27日(土)	真民詩の魅力とその背景(1) 三瓶・吉田時代	館長 西澤孝一
5	11月 9日(金)	11月10日(土)	真民詩の魅力とその背景(2) 宇和島時代	館長 西澤孝一
6	11月16日(金)	11月17日(土)	真民詩の魅力とその背景(3) 砥部時代	館長 西澤孝一
7	11月30日(金)	12月 1日(土)	家族にとっての坂村真民	長女 田中 梨恵子 三女 西澤 眞美子
8	12月 7日(金)	12月 8日(土)	砥部焼の魅力と砥部観光ポイント	砥部焼伝統産業会館館長
9	12月14日(金)	12月15日(土)	記念館の特色と展示作品の解説(講義)	館長 西澤孝一
10	12月21日(金)	12月22日(土)	記念館の特色と展示作品の解説(実習) 修了式	館長 西澤孝一

## 第二期展示のお知らせ

# みずみずしい初期の作品をじっくり味わう

期間 9月16日(日)～平成25年3月3日(日)〈予定〉

## 「三瓶時代の坂村真民 ～『六魚庵天国』の世界～」開催

9月10日(月)から9月15日(土)まで、展示替えのため休館し、9月16日(日)から平成25年3月3日(日)まで「坂村真民をもっと知ろう」をテーマに、新たに常設展の展示作品を入替えるとともに、企画展を開催します。

### 【第1展示室】

#### 常設展「坂村真民の詩の世界」

オープン展では未展示の作品を中心に新たな真民詩の詩墨作品を展示する。

### 【第2展示室】

#### 「三瓶時代の坂村真民 ～『六魚庵天国』の世界～」

坂村真民が昭和21年5月から4年間過ごした三瓶町での、悲しくも切ない家族の生活を詠った詩を集めた第一詩集「六魚庵天国」(昭和26年4月発行)から、代表的な詩を7～8篇取り出し、その詩が生まれてきた背景や、真民と三瓶町の人々との交流の様子などを解説・展示する。



### 六魚庵天国

悲しみを噛みしめて帰る六魚庵に  
明るいあかりがともっている  
煮たきの香いがながれている  
こどものこえがひびいている  
山羊がしきりに呼んでいる  
六魚庵はやっぱり天国だ  
さみしいわたしの安息所だ

大東出版社「自選坂村真民詩集」

## 注目!!



### 絵馬

「念ずれば花ひらく 絵馬」にあなたの願い事を書いて、記念館の西側にある絵馬掛に掲げませんか。実現したい目標や胸に秘めた希望を言葉にして、真民さんから力をもらいましょう。

絵馬は大525円、小420円。(※絵馬に書くためのマジックペン等は記念館務局で貸し出しています)



### ポストカード

約50種類からよりどりみどりで選べるポストカード(1枚105円)。このほど、ご要望に応じて「愛媛産には、愛がある」が加わりました。また、5枚組のお洒落なセットも登場。お土産にぴったりです。



### パン

いろは屋の開発した2種類のパンが好評です。ひとつは、カボチャが入った色鮮やかな生地で作った赤飯を包んだパン。もう一つはヨモギの生地で作った愛媛のみかんジャムを包んだパン。包装紙には真民さんの「パン焼きになる夢」の詩を記載。1個190円。



## ミュージアム ショップ

# 拝見

人気モノを紹介します!

坂村真民記念館を応援しています



経営理念

最大の会社より最良の会社  
人さまに喜んで頂く仕事と自分づくりをする

パチンコ店経営

株式会社 宣翔物産

〒812-0857 福岡市博多区西月隈3-6-17 Tel 092-475-1151

鳥は飛ばねばならぬ  
人は生きねばならぬ  
怒濤の海を  
飛びゆく鳥のように  
混沌の世を  
生きねばならぬ  
鳥は本能的に  
暗黒を突破すれば  
光明の島に着くことを知っている  
そのように人も  
一寸先は闇ではなく  
光であることを知らねばならぬ  
新しい年を迎えた日の朝  
わたしに与えられた命題  
鳥は飛ばねばならぬ  
人は生きねばならぬ



〒791-2114 愛媛県伊予郡砥部町麻生40-1 TEL089-957-5511



ある時、真民先生は、ぽつりと、念じても花が咲かない時もあると話されました。先生の深い悲しみを知ると共に、歩いてきた後の足跡と、これからの足跡次第のことかと想いました。

南木曾木材産業株式会社

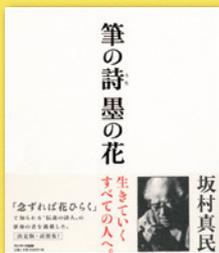
〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻1187 代表取締役 柴原 薫

TEL 0264-57-4000 FAX 0264-57-2006 <http://www.nagiso.co.jp/> メール [kao@nagiso.co.jp](mailto:kao@nagiso.co.jp)

最新刊!

定価=3675円(税込)

決定版・詩墨集!

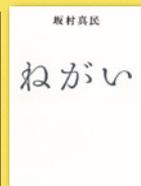


筆の詩墨の花

坂村真民

サンマーク出版

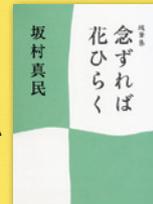
坂村真民の本



特別版詩集!

復興へのねがいをこめて—  
定価=998円(税込)

随筆集 念ずれば花ひらく  
随筆集 めぐりあいのふしぎ  
随筆集 愛の道しるべ  
定価=各1890円(税込)



いま届けたい、生き方の道しるべ

詩集 二度とない人生だから  
詩集 宇宙のまなざし



刊行後14年で  
9.3万部の  
超ロングセラー!

詩集 念ずれば花ひらく

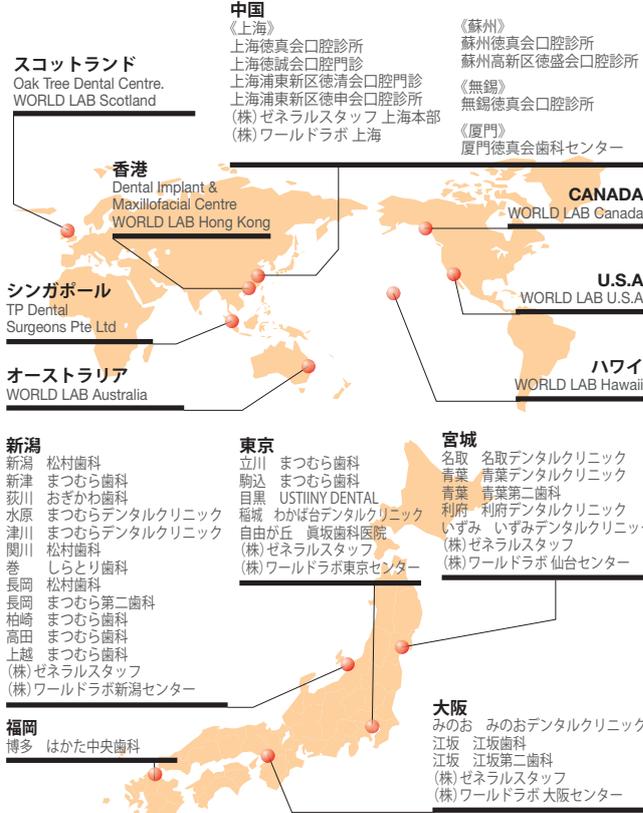
定価=各1050円(税込)

サンマーク出版

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-16-11 <http://www.sunmark.co.jp>  
TEL 03 (5272) 3166 FAX 03 (5272) 3167

# 医療法人 徳真会グループ

「医療は人なり」の診療概念をもとに患者第一主義の歯科医療グループです。  
国内外34ヶ所の歯科医院を展開し、年間80万人の治療に携わっております。



**新潟**

- 松村歯科 新潟診療所 ☎025-201-1885
- まつむら歯科 新潟診療所 ☎0250-24-6688
- おぎかわ歯科 ☎0250-23-4880
- まつむらデンタルクリニック 水原診療所 ☎0250-62-2151
- まつむらデンタルクリニック 津川診療所 ☎0254-92-0150
- 松村歯科 関川診療所 ☎0254-64-1201
- しらとり歯科 ☎0256-72-1771
- 松村歯科 長岡診療所 ☎0258-28-4108
- まつむら第二歯科 (長岡市) ☎0258-31-7202
- まつむら歯科 柏崎診療所 ☎0257-20-0310
- まつむら歯科 高田診療所 ☎025-521-6780
- まつむら歯科 上越診療所 ☎025-522-6001

**宮城**

- いすみデンタルクリニック ☎022-253-1588
- 青葉デンタルクリニック ☎022-348-2125
- 青葉第二歯科 ☎022-348-1085
- 利府デンタルクリニック ☎022-766-4130
- 名取デンタルクリニック ☎022-381-0921

**大阪**

- 江坂歯科 ☎06-6386-0233
- 江坂第二歯科 ☎06-6310-7660
- みのおデンタルクリニック ☎072-749-2080

**東京**

- まつむら歯科 駒込診療所 ☎03-3949-8818
- まつむら歯科 立川診療所 ☎042-538-1088
- USTINY (アスティニー) ☎03-6431-8633
- わかばデンタルクリニック ☎042-350-5671

**福岡**

- はかた中央歯科 ☎092-892-5134

**中国**

- 厦門徳真会歯科センター ☎86-592-229088
- 上海徳真会口腔診所 ☎86-21-5208-0208
- 上海徳誠会口腔門診 ☎86-21-6340-0290
- 上海浦東新区徳清会口腔門診 ☎86-21-5030-7858
- 上海浦東新区徳申会口腔診所 ☎86-21-6856-1040

- 蘇州徳真会口腔診所 ☎86-512-6763-5720
- 蘇州高新区徳盛会口腔診所 ☎86-512-6803-2501
- 無錫徳新会口腔診所 ☎86-510-85281121
- Branemark Osseointegration Center ☎86-21-6289-8101

**株式会社ワールド・ラボ**

- 新潟センター ☎0250-23-2009
- 大阪大阪センター ☎06-6190-2660
- 仙台センター ☎022-348-1206
- 東京センター ☎03-6431-9239
- WORLD LAB U.S.A. ☎1-949-727-0121
- Ultimate Styles Dental Laboratory ☎1-949-727-0822
- 徳真会歯科制作(上海)有限公司 ☎86-21-5270-1325

**株式会社ゼネラルスタッフ**

- 本 社 ☎025-201-1183
- 新津本部 ☎0250-25-2016
- 東京本部 ☎03-6431-9809
- 大阪本部 ☎06-6310-6066
- 上海本部 ☎86-21-6340-0316



医療法人 徳真会グループ

徳真会

検索



www.tokushukai.or.jp

## 坂村真民記念館友の会 会員募集中

坂村真民記念館友の会は、会員の皆様と記念館との交流を図り、記念館を共に支え、育てていくことを目的とした会です。入会された方には会報と、砥部焼干支や真民グッズなどの記念品を贈呈します。

**パスポート会員** 特典 会員証で入館無料1人 ほか  
年会費2000円

**一般会員** 特典 会員証で入館無料1人 ほか  
年会費5000円

**特別会員** 特典 会員証で入館無料2人 ほか  
年会費10,000円

**法人会員** 特典 会員証で入館無料2人、  
年会費10,000円 観覧券10枚贈呈 ほか

詳しくはホームページをご覧ください 坂村真民記念館 友の会 検索

《編集後記》

タンポポだより秋号をお送りします。内容的にはまだまだです。試行錯誤を繰り返しながら良いものにしていきたいと思ってます。読者の皆様との交流の場も設けたいと思っておりますので、是非ともご意見ご要望等をお寄せください。新しい展示が始まります、皆さんでお出かけ下さい。

タンポポだより vol.2 秋号

平成24年9月1日発行  
表紙写真：沖田健一

発行元／坂村真民記念館友の会事務局  
〒791-2132 伊予郡砥部町大南705  
坂村真民記念館内  
TEL089-969-3643 FAX089-969-3644